

○研究論文○

1. 塩入俊樹, 加藤圭悟. 強迫症の理解と治療の新たな展開 I:不安症と強迫症との関係, 精神科治療学 32(3): 357-364.
2. 武藤恭昌, 塩入俊樹. 3.不安症群併存の可能性:うつが治らないときに何を考え, どのように対処すべきか, 精神科 30(6): 476-485.
3. 塩入俊樹, 竹内円香. 精神科薬物療法 pros and cons:ベンゾジアゼピン系薬の頓用 - 不安症群に特化して, 臨床精神薬理 20(6): 705-710.
4. 竹内円香, 塩入俊樹. パニック症治療における薬物療法の位置づけ, 臨床精神薬理 20(7): 751-762.
5. 塩入俊樹. 日本精神神経学会ホームページ「こころの病気について」より - こころの病気について:パニック障害.
6. 鎌谷俊輔, 塩入俊樹. こんな目的で薬を使っています:上手な頓服薬の使い方, 精神科臨床サービス 17(4): 427-430.
7. 西原真理, 杉山俊介. 【脊椎・脊髄疾患のニューロサイエンス 神経所見の診かたから再生医療まで】脊椎・脊髄疾患と鑑別すべき神経・精神疾患 精神・心理的疾患 身体症状症, 整形・災害外科 60(5): 591-596.
8. Takeuchi N, Sugiyama S, Inui K, Kanemoto K, Nishihara M. New paradigm for auditory and tactile paired pulse suppression, Plos One 12(5).
9. 堀田 亮, 西尾彰泰, 山本眞由美. 大学生の基礎学力と精神的健康度の関係, 学校保健研究 59(4): 269-275.
10. Nishio A, Tomokawa S, Kobayashi J, Mizoue T, Horita R, Yamamoto M. Inclusive education in Association of Southeast Asian Nations (ASEAN) - Literature review from 1995, School Health 13: 20-29.
11. Nishio A, Horita R, Sado T, Mizutani S, Watanabe T, Uehara R, Yamamoto M. Causes of homelessness prevalence - The relationship between homelessness and disability, Psychiatry and Clinical Neurosciences 71: 180-188.
12. 堀田容子, 西尾彰泰, 堀田 亮, 磯村有希, 高井郁恵, 邦 千富, 野邑真子, 山口美紀, 宮本由紀子, 大島由美子, 加納亜紀, 山本眞由美. 新入生の健康診断結果における体重と血液検査異常値の頻度について - 男女の比較検討 -, CAMPUS HEALTH 54(1): 121-123.
13. 山口美紀, 西尾彰泰, 堀田 亮, 高井郁恵, 邦 千富, 野邑真子, 堀田容子, 宮本由紀子, 磯村有希, 大島由美子, 加納亜紀, 山本眞由美. 入学時に肥満学生に対する保険指導介入の効果に関する検討 - 1年後の体重変化 -, CAMPUS HEALTH 54(1): 124-126.
14. 磯村有希, 西尾彰泰, 堀田 亮, 大島由美子, 高井郁恵, 邦 千富, 野邑真子, 堀田容子, 山口美紀, 加納亜紀, 宮地幸雄, 山本眞由美, 公益社団法人岐阜県栄養士会. 食生活に対する大学生自身の自己評価と管理栄養士による客観評価の比較検討, CAMPUS HEALTH 54(1): 219-221.
15. 石垣倫子, 西尾彰泰, 堀田 亮, 船越高樹, 川上ちひろ, 磯村有希, 山本眞由美. 大学生に対するヨーガセラピーの効果, CAMPUS HEALTH 54(1): 235-237.
16. 西尾彰泰, 堀田 亮, 船越高樹, 石垣倫子, 川上ちひろ, 加納亜紀, 磯村有希, 山本眞由美. 多部局間共同プログラム「スキルアップ・グループセミナー」の実践報告, CAMPUS HEALTH 54(1): 434-436.
17. 加納亜紀, 船越高樹, 山口美紀, 堀田容子, 高井郁恵, 邦 千富, 宮本由紀子, 堀田 亮, 磯村有希, 宮地幸雄, 西尾彰泰, 山本眞由美. ペースメーカー(PM)植込後状態の工学部学生に実施した工学基礎実験履修支援の経験, CAMPUS HEALTH 54(1): 475-477.
18. 西尾彰泰. 留学生家族に関わる各種社会保障制度, CAMPUS HEALTH 54(2): 30-34.
19. 堀田 亮, 西尾彰泰, 磯村有希, 宮地幸雄, 加納亜紀, 船越高樹, 山本眞由美. 対処行動エゴグラムを用いた学部新入生のストレス対処行動の実態の検討:影響因との関係, CAMPUS HEALTH 54(2): 161-166.
20. Shiotsuki K, Nonaka Y, Abe K, Adachi S, Adachi S, Kuboki T, Nakao M. The effect for Japanese workers of a self-help computerized cognitive behaviour therapy program with a supplement soft drink, Bio Psycho Social Medicine 11: 23.
21. Shiotsuki K, Nonaka Y, Takano J, Abe K, Adachi S, Adachi S, Nakao M. Brief internet-based cognitive behavior therapy program with a supplement drink improved anxiety and somatic symptoms in Japanese workers, Bio Psycho Social Medicine 11: 25.
22. 野田昇太, 大澤香織, 城月健太郎. スピーチ場面におけるCost/Probability bias の開発, 認知療法研究 10: 219-231.
23. 野田昇太, 大川 翔, 城月健太郎. マインドフルネス特性,注意制御機能,回避行動,他者からの評価に対する恐れと社交不安との関連性, マインドフルネス研究 2: 11-21.
24. 加藤秀明, 定岡邦夫. 訪問看護による服薬調査と多職種協働によって特効性注射剤を導入した統合失調症の2症例, 岐医誌 30: 57-61.
25. 加藤秀明, 山下真奈美, 谷口朋子, 定岡邦夫. 症例報告:高次脳機能障害と精神科地域ケア, 日精協誌 36(9): 73-78.
26. 本間正教, 加藤秀明. EscitalopramによるSSRI誘発性アパシー症候群が疑われた1症例, 精神医学 50(1): 79-83.